

# ゆりはま議会

第40号

平成25年11月1日発行  
発行：鳥取県湯梨浜町議会



## 9月定例会

- P2 平成24年度決算  
町財政は大丈夫か
- P4 質疑あれこれ  
円滑な納税対応を
- P11 一般質問 ～町政を問う～  
中学校の統合どうする
- P16 町民インタビュー

“たのしい運動会”あさひ保育所

## 平成 25 年 第 4 回 9 月 定 例 会

平成 25 年 9 月 定 例 会 が、9 月 10 日 から 20 日 までの 11 日 間 の 会 期 で 開 催 さ れ ま し た。

今 議 会 に 提 案 さ れ た 平 成 24 年 度 各 会 計 決 算、条 例 の 一 部 改 正、平 成 25 年 度 補 正 予 算 な どの 議 案 を 慎 重 に 審 議 し、提 案 さ れ た 29 議 案 す べ て を 原 案 の と お り 可 決 し ま し た。

平 成 24 年 度 各 会 計 決 算 に つ い て は、議 員 全 員 で 構 成 す る 決 算 審 査 特 別 委 員 会 を 設 置 し て 審 査 を 行 い、委 員 長 の 報 告 の と お り 認 定 し ま し た。

さ ら に、国 に 提 出 す る 意 見 書、議 員 提 出 議 案 3 議 案 も 原 案 と お り 可 決 し ま し た。

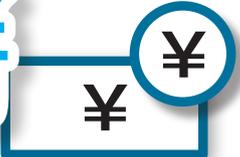
### 平成 24 年 度 各 会 計 の 決 算 状 況

区 分		歳入決算	歳出決算	審査結果
一 般 会 計		95 億 4471 万 円	93 億 721 万 円	賛成 10 反対 1
特 別 会 計	住 宅 新 築 資 金 等 貸 付 事 業	386 万 円	386 万 円	全 員 賛 成
	高 齢 者 及 び 障 が い 者 住 宅 整 備 資 金 貸 付	23 万 円	23 万 円	全 員 賛 成
	国 民 健 康 保 険	19 億 4348 万 円	18 億 7812 万 円	賛成 10 反対 1
	後 期 高 齢 者 療 養	1 億 6977 万 円	1 億 6977 万 円	賛成 10 反対 1
	介 護 保 険	16 億 6214 万 円	16 億 1695 万 円	賛成 10 反対 1
	温 泉 事 業	2731 万 円	2477 万 円	全 員 賛 成
	下 水 道 事 業	12 億 186 万 円	12 億 162 万 円	全 員 賛 成
	農 業 集 落 排 水 処 理 事 業	1 億 6806 万 円	1 億 6806 万 円	全 員 賛 成
	簡 易 水 道 事 業	5374 万 円	5374 万 円	全 員 賛 成
	財 産 区 (6 財 産 区 ) 会 計	1668 万 円	1668 万 円	全 員 賛 成
合 計		147 億 9189 万 円	144 億 4042 万 円	

区 分		収 入	支 出	審査結果	
企 業 会 計	国 民 宿 舎 事 業	収 益	3 億 3459 万 円	3 億 3507 万 円	全 員 賛 成
		資 本	0 円	8374 万 円	
	水 事 道 業	収 益	1 億 8568 万 円	1 億 5861 万 円	全 員 賛 成
		資 本	2598 万 円	1 億 3549 万 円	

※ 決 算 審 査 特 別 委 員 会 で は、委 員 長 を 除 い た 11 名 の 委 員 で 採 決 し ま し た。

町 財 政 は 大 丈 夫 か  
 町 の 家 計 は、貯 金 も 借 金 も 多 い の が 実 情



## 財政分析

主要財務比率の実績は、次のとおりです。

区 分	当年度	前年度	増 減	前年度県内市町村平均
財政力指数	0.27	0.28	△ 0.01	0.34
経常収支比率	89.6	86.7	2.9	87.0

(参考) 主要財務比率の推移 (過去 5 年間)

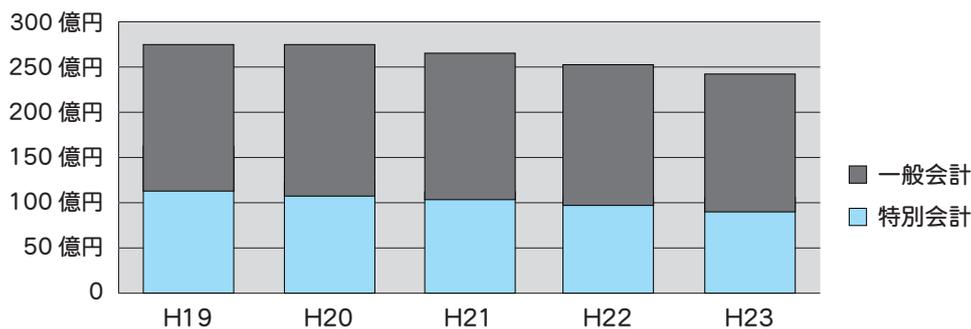
区 分	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
財政力指数	0.30	0.31	0.30	0.29	0.28
経常収支比率	89.0	90.8	87.1	84.9	86.7

財政力指数・・・地方公共団体の財政基盤の強弱を示す数値。過去 3 力年の基準財政収入額／基準財政需要額で算定する。「1」に近づくほど財政力が強いとされている。

経常収支比率・・・財政運営の弾力性・健全性の目安となる数値。町村にあっては 75% を超えると弾力性が失われつつあるとみなされる。

## 借金の状況

各年度末の借金残高 (過去 5 年間)



区 分	前年度末残高	当年度中の異動				当年度末残高
		新規発行額	償還元金	利息	償還元利計	
一般会計	151 億 829 万円	6 億 6146 万円	15 億 3296 万円	2 億 3496 万円	17 億 6792 万円	142 億 3679 万円
特別会計	87 億 8996 万円	2 億 6740 万円	8 億 6885 万円	2 億 1585 万円	10 億 8471 万円	81 億 8851 万円
計	238 億 9825 万円	9 億 2886 万円	24 億 181 万円	4 億 5081 万円	28 億 5263 万円	224 億 2530 万円

平成 24 年度財政健全化判断比率 (単位：%)

比率区分	H24 年度	早期健全化基準
実質赤字比率 (一般会計等の赤字率)	—	14.29
連結実質赤字比率 (全会計の赤字率)	—	19.29
実質公債費比率 (借金返済負担割合)	16.5	25.0
将来負担比率 (将来負担すべき借金の割合)	71.8	350.0

☆平成 24 年度湯梨浜町健全化判断比率の報告  
 実質収支が黒字のため、算定外であり良好である。  
 ☆平成 24 年度湯梨浜町資金不足比率の報告  
 各特別会計とも資金収支が黒字のため、審査対象外。

注) 実質公債費比率：一般財源 (収入) のうち、借金返済に係る費用の割合。

# 町のお金の使い方 質疑あれこれ

## 決算審査特別委員会

### 円滑な納税対応を

Q. 【増井】 悪質な滞納者とは。

A. 【町民課長】 納期限までに支払いがなく督促をしても連絡が取れない

人、資産はあるのに、払わない人などをいう。滞納が長期にわたるものなどは広域連合に委託する。

Q. 【光井】 滞納者の状況を考えることが必要だ

と思う。窓口対応にプライバシーがないと感じるが、配慮しているか。

A. 【町民課長】 支払い督促の前に、電話や来庁して分納などの納付相談をしていたり、相談場所については、現在は窓口で応じているが今後検討する。

Q. 【酒井】 滞納整理対策本部の取組みは。

A. 【副町長】 同一滞納者などについて関係課で情報を共有し、ルールに基づいた対応をしているのか協議している。どうやったら払ってもらえるのか、各種使用料などについても協議している。

【町民課長】 分納で少しずつでも滞納額が減っていくのであれば、滞納処分はしない。支払い能力の回復が見込めない

場合は徴収猶予なども検討。納税者が自ら納税する環境づくりに努めた

### 適切なナラ枯れ対策を

Q. 【浦木】 大山に被害が及ばないように対策をとっているが、被害防止できたのか。

A. 【産業振興課長】 県補助で310本伐倒し、その効果は出ている。更なる害虫の駆除方法は検討中。

### 気軽に行ける 放課後児童クラブへ

Q. 【増井】 利用者減少の要因はいじめなのか。職員体制には問題はないのか。

A. 【子育て支援課長】 いじめの事例はあるが、それが原因で減っているとは言い切れない。

職員は教育委員会や学校と連携し、質の向上を図っている。

児童数に対して何人という配置をしており、責任の所在が不明瞭な点が



職員体制を検討へ（放課後児童クラブ）

あるので、今後検討したい。

Q. 【浦木】 学校内に開設しているクラブでは、教師がすぐに来られて、トラブル回避ができると思うが。

A. 【子育て支援課長】 人数の関係で、すべてを学校でというのは無理がある。

【教育長】 教育委員会の指導主事に子育て支援課との兼務発令をしており、連携を取っている。



納税相談 “プライバシーの配慮” が課題

## スポーツ熱を町民へ

Q. 【浜中】全国大会に18件も出場するような事例があるとは知らなかった。子ども達を応援するという意味からも、もっと町民へ周知すべきでは。

A. 【町長】スポーツ大会の開催には懸垂幕をしている。他に、全国コンクールなどで優秀な成績を修めた方のコンサートをアロハホールで開催したり、TCCに連絡して取材依頼している。

## 特産品開発へ支援

Q. 【松岡】加工グループでいろいろな製品を作られているが、企業化には向かわないのか。今後の方向性は。

A. 【産業振興課長】地産地消を目的に活動しているが、高齢化が進み、運営委員のなり手がいないのが現状。

【町長】加工グループの製品は、夢マートなどの直売所で流通している。バジルソースは東京に

ある県のアンテナショップで販売している。湯梨浜の特色を出した物の、商品化を目指している。行政としても手助けしたい。

## 泊の風車はどうなる

Q. 【浦木】泊の風車は今後どうするのか。

A. 【企画課長】耐用年数は15年。修繕費などは保険で対応しているが、収支バランスを見ながら、モニタメント化も考えていかないといけない。

【町長】県内第1号の風車で、湯梨浜町の環境施策のシンボルになり得る。慎重に判断したい。

Q. 【光井】改修が必要な施設がたくさんあるが、一般財源か補助事業でされるのか改修計画に基づいた想定を出すべきでは。

A. 【町長】予算編成時に緊急性などから判断。補助事業などがあれば、積極的に手を挙げたい。財政を考えながら、計画的に進めたい。

## ますます広がる イノシシ被害

Q. 【寺地】対策しても毎年被害が出る。集団的な被害防止が必要では。

A. 【産業振興課長】電気柵やワイヤーメッシュでイノシシなどが侵入しないように対策しているが、不十分なところがある。

農事組合などで協議してもらい、地域全体を囲うような対策ができないか今後検討したい。



アンテナショップでの特産品の販売（東京都新橋）

議案の内容 (○：賛成 ×：反対)		増井	寺地	河田	浜中	入江	松岡	酒井	上野	浦木	会見	米田	光井
69	平成24年度湯梨浜町一般会計歳入歳出決算認定について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
72	平成24年度湯梨浜町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
73	平成24年度湯梨浜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
74	平成24年度湯梨浜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
陳情9	子ども・子育て支援新制度の導入に関する意見書提出を求める陳情書	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-

※上記以外の議案は全会一致で可決及び認定しました。

## 決算に対する町長の評価(要旨)

防災対策について、東日本大震災を踏まえ、湯梨浜町地域防災計画の改訂、津波ハザードマップの作成、防災研修会及び地区説明会の開催等を行った。さらに住民の皆さんへの周知・啓発に取り組みねばと考えている。

町づくりについて、「天女のふる里づくり」に着目し、イメージキャラクターのデザイン、シンポジウムの開催等イメージ戦略事業を展開した。

湯梨浜町の将来の町づくり、課題の克服に向け、必要な手をつつてきたが、少し進度が遅いもの、期待した結果が得られなかったもの、実施できなかったものもある。このような点は、25年度の事業遂行に当たって、意識して取り組んでいる。



町のイメージキャラクター「ゆりりん」

## 決算審査意見(要旨)

代表監査委員 磯江俊二  
監査委員 上野昭二

## 平成24年度 決算審査特別委員会報告(要旨)

今後の予算執行に当たって、次の付帯事項が議会の意向としてつけられた。

### ① 収入未済金対策について

引き続き全庁的な取組みが実施され、前年度よりも収入未済額が減少した。  
過年度分滞納について、それぞれ状況を検証し、極めて悪質な案件には法的手段の行使を検討、極めて徴収が困難な案件は債権放棄を検討することなどが必要。

### ① 町税等の収入未済金対策について

一定の成果を上げられ評価できる。しかし、不納欠損の処理や債権放棄基準は、具体的に運用できる基準づくりを目指して検討したとの監査委員の指摘もあるように、今後はより一層の論理的検討を続けられたい。

### ② 生ごみリサイクル活用業務委託事業について

「生ごみを肥料として活用し、ごみ減量化と循環型社会を構築する」ことを目的とした事業。一般ごみに比べて約6倍もの経費がかかる上に、生成液肥の普及拡大は難しいと認識されている。本来の事業実施目的・成果の検証意識が軽視されているのではないか。

### ② 生徒就学援助の取組みについて

一定の効果は認められるものの、認定基準の更なる見直しが必要と思われる。制度の周知徹底などを検討し、本制度が一層活用しやすいよう充実に努められたい。

### ③ 健康診査・予防接種に係る自己負担について

当町の健診・がん検診自己負担金額は、一般(69歳以下)に比べて高齢者は一律半額負担の状況である。一度全般的に検証し、現役世代の自己負担金の軽減等を検討する必要がある。

### ③ 全国大会等参加補助金について

オリンピック開催地が東京に決まり、地元小中学生に夢や希望を与えたいという使命もある。町民全体で応援する体制など、町全体での取組みに発展することが望まれる。

### ④ 介護保険事業について

特に、認知症高齢者の予防対策が重要で、予防と地域住民への理解と暖かい見守り体制の整備は急務と思われる。今後、ますます増えるであろう需要に対して適切な対応及び支援体制の充実に努められたい。

妊娠婦、乳幼児、児童・生徒の健診・予防接種はほぼ全額公費負担だが、一部自己負担の必要なものもある。「子育て施策充実の町」を掲げる町として、子育て世代の負担軽減方策を検討する必要があると考えている。

# 補正予算審議

## ◆ 一般会計

歳入歳出それぞれ  
1億5475万円を追加  
し、補正後の予算の総額  
を約89億8645万円と  
する。

### 大規模災害に対応

・総務一般管理臨時経費  
3300万円  
停電時の本庁舎機能確  
保のため、大型の非常用  
発電機を設置する。



設備が不十分な発電装置（役場本庁舎）

### 空調システム新調

・東郷支所施設整備事業  
936万円  
空調システムを新調  
し、経費節減に努める。

### 空き店舗活用に支援

・みんなで支え合う中  
山間地域づくり総合支  
援事業  
1250万円  
空き店舗などを活用し  
て、地域活性化に取り組  
もうとする地域や団体に  
対して、必要経費の一部  
を助成する。

### 陸上養殖に国の支援

・陸上養殖起業支援事業  
△814万円  
・地域経済循環創造事業  
3100万円  
泊漁港内の未利用地で、  
井戸海水を利用した陸上  
養殖事業を県が進めてい  
る。当初予算では2社実  
施予定とされていたが、そ  
のうち1社は国が実施す  
る「地域経済循環創造事  
業」へ移行するため、当  
初予定事業を減額し、新  
たに追加補正する。

### 亀裂状況を継続調査

### 道路維持事業

450万円  
町道筒地原線で発生し  
ている亀裂状況を継続し  
て測量調査するための経  
費、未舗装町道のアスファ  
ルト舗装経費、道路用地  
の買収経費など。

### 寄付金税額控除対象を追加

・町税条例の一部改正  
個人住民税の寄付金税  
額控除に関して、現行の  
対象寄付金に、県内に事  
業所を有する団体に対  
する寄付金などを追加す  
る。

### 損害賠償で和解

・専決処分の報告  
町営住宅のゴミ捨て場  
で起きた事故により、住  
民が負ったケガに対する  
損害賠償及び公用車運  
転中に民家のトコを破損し  
た事故による損害賠償に  
ついて、それぞれ和解し、  
損害賠償の額を決定し  
た。



漁船燃料高騰で不振（泊漁港）

## ◆特別会計

### ・国民健康保険事業特別会計

歳入歳出それぞれ7249万円を追加し、補正後の予算の総額を19億7108万円とする。

### 《主な補正内容》

療養給付費交付金の確定による返納金など。

### ・介護保険特別会計

歳入歳出それぞれ2918万円を追加し、補正後の予算の総額を17億6338万円とする。

### 《主な補正内容》

前年度実績に基づく国庫支出金などの精算返還金。

### ・下水道事業特別会計

歳入歳出それぞれ704万円を追加し、補正後の予算の総額を10億8013万円とする。

### 《主な補正内容》

東郷処理区内の不明水について破損箇所を特定・修繕し、不明水量を減少するための委託料・工事請負費など。

### ・農業集落排水処理事業特別会計

歳入歳出それぞれ504万円を追加し、補正後の予算の総額を2億5483万円とする。

### 《主な補正内容》

新規加入者に対応する汚水柵設置工事など。

### ・水道事業会計

収益的収入の営業外費用を110万円追加し、補正後の水道事業収益の総額を1億8439万円とする。また、収益的支出の営業費用を113万円追加し、補正後の水道事業費用の総額を1億8019万円とする。

### 《主な補正内容》

落雷被害に伴う修繕費の増加及び共済保険金収入など。

## 工事請負契約の締結

### ・処理場の改築工事

舎人農業集落排水処理場の機能強化のため、改築工事の工事請負契約を締結する。

### 【契約金額】

4977万円

### 【契約の相手方】

共和化工(株) 広島支店  
広島支店長 大森裕之



舎人農業集落排水処理施設

## 陳 情 審 査 報 告

9月定例会において常任委員会に付託した陳情は、慎重に審査を行い次のとおり決定しました。

◎採択した陳情書については、議員発議で政府に意見書を提出しました。

件 名	陳 情 者	審査結果
子ども・子育て支援新制度の導入に関する意見書提出を求める陳情書	鳥取の保育を考える会 会長 石井由加利	不採択
少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2014年度政府予算に係る意見書採択の要請について	鳥取県教職員組合 中部支部長 川上 慎治	採 択 (意見書提出)
「森林吸収源対策及び地球温暖化に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情	全国森林環境税創設議員連盟 会長 板垣 一徳	採 択 (意見書提出)
北浜中学校、東郷中学校統合に関する陳情書	北浜地区保護者連合会 代表 盛山 善人	継続審査

# 常任委員会 審議内容

総務産業常任委員会

9月18日ほか1回

## ◆陸上養殖への支援は

泊漁港内において、未利用地の有効利用を図るため、井戸海水利用の陸上養殖事業者を募集。県が応募のあった2事業者「湯梨浜振興合同会社」(宇谷581-5)と「テイト・エンタープライズ(株)【本社】倉吉市下余戸149-2【支社】はわい長瀬2012-1」を陸上養殖事業者として決定した。

**Q.** 事業への支援はどのようなものをするのか。

**A.** 9月補正予算にも計上しているが、町としては2つの事業で実施しようと考えている。一つは、国の補助を受けて陸上養



陸上養殖予定地 (泊漁港内)

殖ができる「地域経済循環創造事業」。もう一つは、県の陸上養殖の支援事業であり、町も支援する。

**Q.** 井戸の水量は、どのくらいあるのか。2社の事業が成功すれば、他の事業者からも希望があるかもしれない。

**A.** 井戸海水を3か所掘削し、そのうち1か所を2社で使う。2社しか使うことはできないと聞いている。

**Q.** 漁港の占用料を緩和する措置はないのか。まだ確立されていない事業であり、経営を圧迫しないか。

**A.** 占用料については、両業者とも年間50〜60万円払う試算。業者からは減免要望が町に出ている。県に相談しているが、営利目的であり難しい。当初の数期間は、採算がとれない可能性もある。その期間だけでも減免できないか考えている。



スッポンの放流 (はわい温泉)

## ◆はわい温泉・東郷温泉の新たな魅力づくり

温泉水でスッポンを養殖することで、通常4年の成長期間を1年半に短縮でき、おいしいスッポンを提供することができ

る。豊富な温泉資源を活用して、スッポンの養殖技術を確立し、新たな温泉

地ブランドの創出、温泉地の活性化、魅力づくりに繋げる。

将来的には、安定した観光客の確保、雇用の拡大による地域活性化を図る。

**Q.** 今後の事業予定は。  
**A.** 来年度以降は、旅館組合で実施する。

## ◆水明荘の運営状況は

大手インターネット予約サイトに加え、昨年度は全体の販売率の約1割にあたる利用があった。

**Q.** 宿泊、休憩客数ともに前年同期よりも増加している要因は。

**A.** これまでの地道な活動が実績につながってきたと思う。フロント、サービスマ部門の職員を対象に、接客教育を行った。今後は、倭文神社への参拝とアロマセラピーができる女子力アッププランも提供する。

**Q.** 観光客誘致のため、ほかの事業者との連携は。

**A.** 地域、周辺の観光地などと全体で取り組んで行く必要がある。行政、龍鳳閣、県観光事業団とともに岡山のバス会社などへ営業し、観光客誘致に結び付ける。

教育民生常任委員会

9月18日ほか1回

◆学校給食費の徴収状況は

9月2日現在の滞納繰越額が約224万円であり、毎年度滞納額が増えている。



徴収には給食センターも協力「東郷学校給食センター」

Q. 徴収はどのように行っているのか。

A. 学校長の責任で、口座振込により徴収している。現年度滞納分は、給食センターも協力し訪問徴収を行う。過年度滞納分は、教育総務課・給食センターが担当している。

Q. 支払困難な世帯への対応は。

A. 滞納世帯を訪問する際、生活状況の確認も行っている。現在、就学援助の対象となる世帯はないが、何かあれば相談してほしいと伝えている。払えないという家庭から取り立てるといような対応はしていない。

Q. 滞納整理事務処理規定を整備しようとしているが、法的措置の想定は。

A. できるだけ法的措置は取りたくない。措置をしなければならぬときのために、規程を作っておきたい。

◆尾崎家住宅のシロアリを駆除

Q. 約23万円の補助金が出ているが、どこまでが行政の範疇なのか。

A. 7月にシロアリが発生し、すぐに駆除する必要があった。今回の範囲



シロアリ被害が進む尾崎家住宅（宇野）

は母屋部分のみだが、蔵などにもシロアリの形跡がある。今後の駆除について家主と協議し検討する。

Q. 修繕費について、補助制度がない場合は個人負担となるのか。

A. 個人負担となるが、文化財なので、自己都合での改修などは出来ない。

議会運営委員会

9月18日ほか4回

◇議会と住民との意見交換会日程を決定。

◇道州制導入に対する意見書を政府・国会に提出。

議会報告会・住民との意見交換会の開催について

平成 25 年 11 月 19 日（火）：町中央公民館  
11 月 20 日（水）：羽合分館  
11 月 21 日（木）：泊分館

時間：午後 7 時から 2 時間

※報告会：各委員会の活動報告をします。

※意見交換会：中学校統合等についてをテーマとします。

# 一般質問 町政を問う!

## — 質問事項 —

- 上野昭二 ・ いじめの早期解決策は
- 松岡昭博 ・ 水田農業における担い手育成は  
・ スポーツ大会と観光の連携による町おこしを
- 浜中武仁 ・ いじめ防止への対応は  
・ 地域支援事業の拡充を
- 増井久美 ・ 中学校の統合を今後どうするのか  
・ TPP による本町への影響は
- 米田強美 ・ 東郷池の治水対策は大丈夫か  
・ 「子ども・子育て会議」の進め方は

平成 25 年 9 月定例会の一般質問は、第 2 日目の 9 月 11 日（水）に開催しました。  
質問議員 5 人が登壇し、町政全般について熱心に議論を展開しました。

### Q いじめの早期解決策は

### A 指針に基づいて運営



上野 昭二

責務を負うが、その設置基準と調査態勢について問う。

#### 答弁（町長）

いじめ事案が発生した場合、速やかに事実関係の調査・検証ができる機

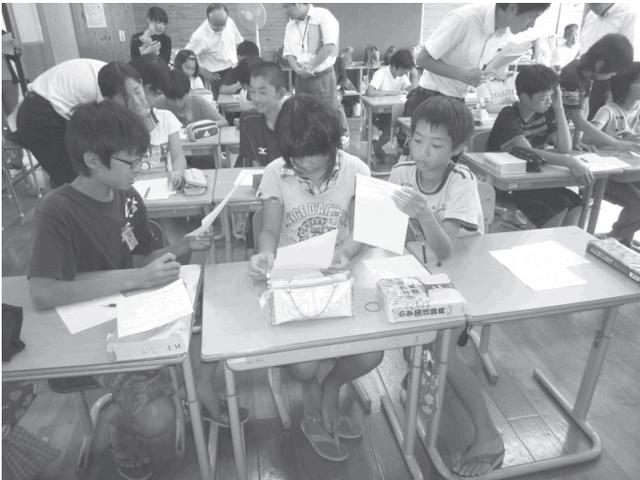
関でなければならぬと考えている。

#### 答弁（教育長）

「いじめ防止対策推進法」は、「鳥取県いじめ対策指針」と類似点が多い。この指針に基づいて運営しており、適切な対応ができると考えている。

常設の委員会組織は、中学校配置の「スクールカウンセラー」や「心の教育相談員」などの協力を考えている。

「いじめ防止対策推進法」が 9 月より施行される。同法は学校・自治体・国の責務を明記し、設置する各組織や調査委員会などに、第三者を参加させ、公平性などを担保する運用方針が付帯決議された。  
教育委員会は責務を果たすため、今日まで各学校へどのような指導を行い、そして各学校はどのような基本方針を定め、どのような組織を常設するのか問う。  
また、町長は必要に応じて調査機関を設置する



泊小学校での授業風景

Q 水田農業における  
担い手育成は

A 集落営農の促進に更に努力



松岡 昭博

答弁(町長)

就農条件整備事業を活用しながら、平成18年度より梨、ぶどうの果樹が4名、メロン、イチゴの野菜が3名である。25年

度は3名の稲作水稻者があり、その内1名が女性の就農者として誕生した。

また、方面・別所・はわい長瀬・原地区が「コンバイン組合」として組織化されている。今後、法人化に向け協議していく。

集落営農の促進や担い手農業者の育成に更に努力したい。

水田農業において、町は多様な農業者の育成に向け、どのように取り組まれてきたのか。また、その育成結果はどうであったか。

基幹的担い手の育成が進んでいないが、総合計画に、年に一度は進捗状況を確認し、検証を加え、必要な改善を行うところ。今後、目標達成に向け、どうするか聞く。

地域の農業を発展させるため、もっと積極的に基幹的農業者を育成すべきではないか。



コンバインでの収穫風景 (門田地区)



グラウンドゴルフを楽しむ人 (潮風の丘とまり)

はないのか。

答弁(町長)

本町では、3つの全国大会をはじめ多くの大会を開催している。「東郷湖マラソン大会」は参加者減、宿泊者減により休止とした。今後、マラソン大会は予定していない。

答弁(教育長)

現在、東郷湖ノルディックウォークによる町おこし、健康推進が図られている。新たな大会の創設よりウォークの大会に反映していくほうが効果的と思う。

Q スポーツ大会と観光の  
連携による町おこしを  
A 観光と大会の連携は  
より効果的

各種スポーツ大会を観光・食・文化などを組み込んだ大会に発展させ、多くの人たちに来ていただけるよう、官民一体となつて魅力ある大会に向け努力する必要があると思う。スポーツ大会と観

光の連携による町おこしについて、どのように考えているのか。

また、「東郷湖マラソン大会」は、休止か中止か。この大会は十分発展する可能性があると思う。今後、再開する予定

松岡議員は、このほかに、「集落ぐるみで取り組む高齢者福祉」について質問しました。

## Q いじめ防止への対応は

### A 生徒の立場に立って対応



浜中 武仁

#### 答弁（町長）

いじめは、心にも体にも深く大きな傷を残すものだということを、学校も家庭も地域社会もしっかり教養育てていかななくてはいけない。

#### 答弁（教育長）

本年度、8月末でいじめが3件あった。取り組みとしては、第一に教育委員会内の責任者を明確にする。第二に迅速な対応をする。第三に被害者生徒の立場に立った対応に徹する。第四に保護者などへの適切な情報公開を十分にするなど、方向性を示し不安感を取り除き、被害者の心に希望を与えたい。

いじめが、大きな社会問題となっている。

このような現状の中、いじめ防止対策の法律が施行されるが、本町でのいじめの現状と課題は。

また、同法では、地方公共団体の責務などが定められた。主な施策として、学校におけるいじめの防止、早期発見のための処置、いじめ防止のための人材確保・資質の向上、インターネット対策の推進などだが、同法の施行に伴う本町での取り組み状況は。



運動会で一致団結（北浜中学校）

## Q

### 地域支援事業の拡充を

#### A ボランティアの活動も支援

の地域支援事業にどう対応するのか。

#### 答弁（町長）

当町では要支援1、2の人の約8割が予防給付を受給している。予防給付を廃止し地域支援事業に移管すると、現在、介護保険施設のサービスを利用している人は、利用ができなくなる懸念がある。自治体にどのような格差が生じるのか予測は困難である。

現在、実施している介護予防事業の拡大や更なる受皿の確保が必要となる。

また、健康な人の介護予防にもつながる高齢者クラブやシルバー人材センターの活動を支援するとともに、ボランティアの活用も考えていく。

浜中議員は、このほかに、「障がい者の自立就労支援対策」について質問しました。

厚生労働省は、介護保険の「要支援」向けサービスを2015年度以降、市町村の事業に移す改革案が示された。その内容は、提供するサービスの内容や価格、利用者の負担割合を市町村の裁

量で決められるようになる。また、ボランティアなども担い手にしてコスト削減を図るものだが、各自治体のやる気により、自治体間で格差が生じることが懸念される。今後



敬老会で笑顔（泊地域敬老会）

Q 中学校の統合を  
今後どうするのか

A 町民との意見交換会を行う



増井 久美

中学校統合に対して、3小学校を会場として、保護者と教育委員会との意見交換会が行われた。

①統合に向けての今後の町長の考えは。  
②教育委員会提示の「めぐみの湯公園前・大平園横」という場所は批判が多いが、どう考えるか。  
③7月29日の羽合小学校保護者との意見交換会で、教育長は「統合は未決定」という発言をされ、保護者は大変混乱したという

ことだが、発言の真意を問う。  
④北浜地区保護者連合会からの陳情書を教育委員会は受け取らなかった、その理由を問う。

①統合に向けての今後の町長の考えは。  
②教育委員会提示の「めぐみの湯公園前・大平園横」という場所は批判が多いが、どう考えるか。  
③7月29日の羽合小学校保護者との意見交換会で、教育長は「統合は未決定」という発言をされ、保護者は大変混乱したという

答弁(町長)

①教育委員会主催の意見交換会での意見などを検討し、町民との意見交換会を行いたい。

答弁(教育長)

②多くの生徒が自力通学可能な場所が望ましいとの考えで、両中学校の間点に当る地域を候補地として、弾力的に想定しているもの。  
③「最終決定は、議会本会議で」、「町の方針は、この後の住民説明会で町長から説明される」と答えたいことが、誤解された。  
④陳情書の説明を求めたところ、「少し時間をください」との事だった。説明を受け教育委員会で協議したい。



町長との意見交換会(羽合地域)



東郷二十世紀梨初出荷を祝う

自民党候補者がTPP反対を表明し、国益が守れない場合は交渉から撤退すると主張して選挙を戦った。  
農業・食の安全だけでなく、医療も金融も雇用などにも大きく影響する。町としてどのような影響があると把握しているのか。

答弁(町長)

ある試算によると米で30%、果物で50%の生産減が推測される。米で9千万円の減、梨で4千8百万円の減、メロンで百万円の減を推定。医療保険分野で、医療格差の懸念もある。雇用では改善の期待もある。

Q TPPによる本町への影響は

A 農産物に大きく影響

政府は8月23日にTPP(環太平洋連携協定)への参加を強行した。交渉参加は昨年の総選挙での公約違反であり、今回の参議院選挙でも多くの

## Q 東郷池の治水対策は大丈夫か

### A 県と連携し対応



米田 強美

#### 答弁(町長)

水門操作要領に基づき操作して、洪水時には、県・町・操作員と連絡を密にし、警戒態勢で対応。

緊急時における情報は、鳥取県防災情報システムで閲覧は可能。今後、監視カメラを設置する方向。

台風12号での対応は、操作要領に基づき対応した。現在、県では「東郷池河川整備計画」を策定中で内容が固まった上で、町でも検討していく。

最近の局地的な豪雨で、大きな被害が出ている。

低い地域に住む人にとって、東郷池の治水対策、橋津川の水門操作に注目するところである。潮止め堰の操作について問う。

平常時と緊急時での操作方法はどうか。県・町・操作員の連携はどうか。緊急時での情報提供はできないか。平成23年の台風12号の対応に問題はなかったか。

また、水没する道路の改善計画はあるか。



橋津川の潮止め堰



運動会の練習(松崎幼稚園)

## Q 「子ども・子育て会議」の進め方は

### A ニーズ調査を行い審議していく

消費税増税は、社会保障の充実が目的で、その中に子育て支援がある。

平成27年度から始まる予定の「子ども・子育て支援新制度」で、支援事

業計画の策定に向け、「子ども・子育て会議」を設置した。

今後どのようにこの会議は進められるのか。行政の関わり方はどうであるか。保育所の統合や認定こども園の移行も検討するのか。

松崎幼稚園の3歳未満児の受入れの見通しはどうか。

#### 答弁(町長)

平成25年度中に地域の子育てに関するニーズ調査を行い、町が策定する「市町村子ども・子育て支援事業計画」を基に、平成26年度前半に保育サービスの給付、事業の需要見込み量などを審議していく。

同会議で、保育所の統合や認定子ども園移行の是非を直接協議するものではないが、町の方針により審議することとなる。

松崎幼稚園での3歳未満児の受け入れを望む意見もある。ニーズ把握をして検討している。

# 町民インタビュー

## －「中学校統合について」聞きました－

(町長と語る会にて)



永井康雄さん  
(羽合地域)

中部地震が起きた時に東郷庁舎は、大変な被害をこうむった点についてきちんと検証されたのか。庁舎はもちろんだが、現在の駐車場あたりの地盤沈下が大変ひどかった。古い資料があると思うので、調べるべきだと思う。この辺りはどこをとっても地盤が悪い。そういうところに学校は建てるべきではないと思っている。

綱引きになるなら、二校、残すことはできないか。特例債にこだわらず、他の補助制度を使うとどうなるかなどの比較もしてみるべきである。また、地震や津波などの災害時には、学校は避難所になる。そういったことも踏まえて多くの子どもや地区のみなさんの逃げやすい場所を選択することも必要だと思う。

(H25.10.8 ハワイアロハホール)

生徒数の減少を考えると統合は仕方ない。中学校から一緒になれば、友達が早い段階で多く出来るので良いと思います。

建設場所は、花見地区の想定場所では通学路の水が心配です。また今後は、東日本大震災の事も考えておく必要があります。中学校は防災拠点でもあり、津波を想定すれば、少しでも海から離れている方が良いと思います。

色々意見が出て場所が決まらない場合、住民投票という意見もありますが、議員が住民の意見を聞いて決めていただきたい。

(H25. 10. 10 町中央公民館)



千熊 一弘さん  
(東郷地域)



野崎 健さん  
(泊地域)

初めて中学校統合の詳しい話を聞き、これまでの経過説明や資料より、3プランからの選択かと当初は勘違いした。

新設場所の選定根拠に、生徒の為に、通学距離6km圏域を強張り誘導しているようだが、それには無理がある。財政などもっと大局的な見地が必要だと思う。

仮に新設場所だけの議論であれば、提示の東郷地域内よりも、羽合小からアロハホール付近に選定し、将来的には町の文教地域として都市計画してはどうか。

(H 25. 10. 15 泊分館)

### 議会の傍聴をお気軽に

☎ 35-5341

FAX 35-3697

✉ ygikai@yurihama.jp

あなたの声をお待ちしています。

### 編集後記

9月定例会が終了し、秋の気配も漂う心地よい気候となった。それにしてもこれまでの気候は、経験したことのない猛暑、豪雨、ところによっては竜巻で多くの被害が出た。まさに異常気象そのもの。当地では台風の直撃も心配されたが、幸いに大きな被害は免れた。今後何が起きても不思議でないと感じる。

危機管理とは、突発的な事態に対処する政策、体制。

改めて行政、議会にとつて重要な概念と感じている。

(記 寺地)

議会広報常任委員会

編集委員一同